

あすなろの里を イルミネーションで飾ろう



水海道あすなろの里について



あすなろの里

ームに加え、外部の有識者等からも意見を伺い、機能の見直しなども含め検討していきたい。

議員

補助事業の関係で所管は農政課だが、内容的には生涯学習、学校教育の場であり、所管は教育委員会であるべきと思うがいかがか。

市長

利用者は児童生徒が7割を占めている。ワーキングチーム、有識者の意見を伺いながら検討していきたい。

議員

冬場の利用が課題であるが、イルミネーションを冬の風物詩として確立するとともに、冬場の活用策として、みそづくりでふるさとの味をつくり、大いに販売していくことを提案する。

産業労働部長

冬場の利用促進について、関係者と検討していきたい。

議員

今後の展望について、市長に尋ねる。

市長

民間経済の活用等総合的に勘案しながら積極的に検討し、常総市の宝として売り出していきたい。

あすなろの里は昭和54年6月にオープンし、37年が経過して施設の老朽化が進んでいる。年次計画を含めた今後の方向性について尋ねる。

議員

産業労働部長

今後も緊急性の高いものから計画的に修繕等を進め、施設機能の維持に努めていきたい。

議員

オープン当初から財団法人あすなろの里に業務を委託しているが、今後も続けていくのか。

産業労働部長

関係部署によるワーキングチ

岡野 一男 議員



常総市も「イクボス」宣言をしようじゃないか！

イクボス宣言 く育児休業をバックアップ

アベノミクスにより、日本の経済は確実に向上している。この成長の実感を全国に届けるため、成長力の中核に位置する女性の活躍の社会を実現させなければならぬ。そのためには男性の協力が不可欠であり、子育て環境の男女協力、従業員や部下の育児参加への理解が求められる。義務教育までの子育て奮闘中の常総市職員の割合と、職員に対する制度は何かがあるのか。

議員

子育て中の職員は正規職員の約28%。制度は、育児休業、看護休暇、児童手当、出生時の給付がある。

総務部長

男性職員の育児休業取得の実績がないとのことだが、取得しづらいのか。

人事課長

申し出はあったが、現実的に実績として上がっていない。休暇が積極的に取れるような状況をつくっていくため、イク

議員

現在、鋭意進めており、研修会も企画しているところである。

市長

茨城県で1番を目指していた。自治体だけの問題ではなく、全国の働く場の整備が必要である。市長にはフラッグシップとして宣言していただき、さまざまな波及効果を期待する。

議員

イクボス宣言を行う意義がある。市としてはどう考えるか。

総務部長

職員のキャリアや人生を応援するための取り組みとして重要と考える。

議員

子育て環境の充実が市長の公約であるが、茨城県で先駆けて市長がイクボス宣言を行おうじゃないかと提案する。

市長

現在、鋭意進めており、研修会も企画しているところである。

議員

茨城県で1番を目指していた。自治体だけの問題ではなく、全国の働く場の整備が必要である。市長にはフラッグシップとして宣言していただき、さまざまな波及効果を期待する。

議員



写真はイメージです

金子 晃久 議員